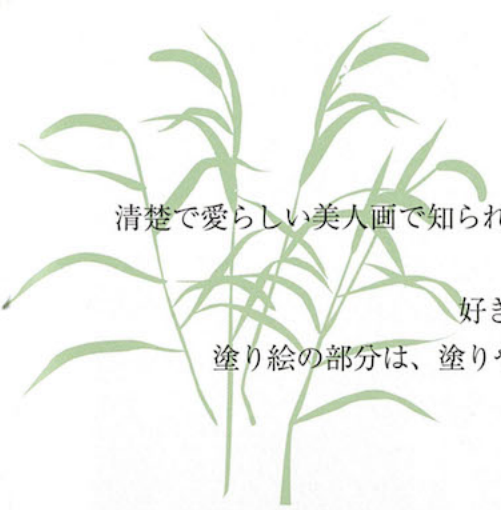




# 収録絵柄一覧



清楚で愛らしい美人画で知られる鈴木春信は、錦絵(多色摺木版画)の誕生に寄与した浮世絵師として知られています。庶民のなにげない日常や恋人たちを詩情豊かに描き、一世を風靡しました。好きな画材を使って自由な色で彩色を楽しみ、オリジナルの美しい絵に仕上げてください。塗り絵の部分は、塗りやすい画用紙を使用していますので、ミシン目から切り取ってそのままお使いください。

1 五常「智」



2 座敷八景 あふぎの晴嵐 せいらん



3 めだかすくい



7 座敷八景 鏡台の秋月



8 柿の実とり



9 座敷八景 琴路の落雁 らくがん



4 梅雨明け



5 笠森おせんと団扇売り うちあふり



6 塩焼苫屋



10 座敷八景 あんどうの夕照 せきしょう



11 三十六歌仙 紀友則(雪晴れ)



塗り絵は、切り取ってすぐ使えるミシン目入り



# 素材の質感を捉え、色鉛筆で印象的な作品に仕上げる

春信の絵には着物の模様や雪などを表現するとき、「空摺り<sup>からず</sup>」という技法が用いられています。これは絵の具をつけずに板に紙を押し当て凹凸で模様をつける方法です。空摺りで模様を入れることにより、立体的で細やかな表現をすることができます。

## ☀ 空摺りの表現に挑戦しよう

白の色鉛筆を尖らせ、模様に沿って強い筆圧でなぞります。厚紙などを下に敷いておくと、くっきりした線をつけることができます。

くぼみをつけた溝の部分に色が入らないよう、鉛筆を寝かせ、軽いタッチで塗り重ねましょう。模様が綺麗に浮き出てきます。



No.8 「柿の実とり」

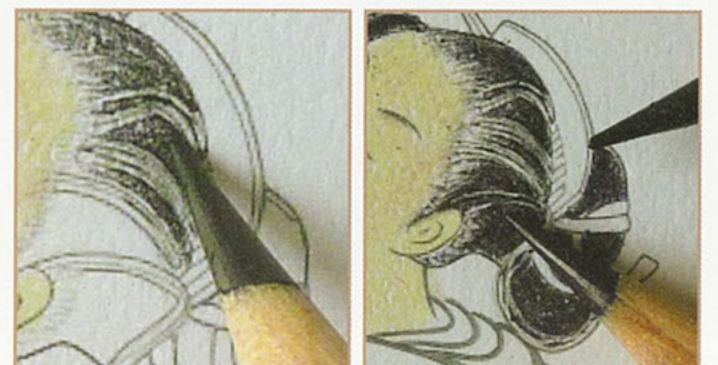
1



クリームで肌を塗った後、うすだいを塗り重ね、ほおはピンクで差し色を入れます。目とまゆはよく尖らせた黒で塗りましょう。



髪を塗ります。はじめに、生え際と髪の毛の部分だけを、尖らせた白の色鉛筆で、強めの筆圧で描きます。



毛の流れに沿って上から黒を塗ります。さらに紫で塗り重ね、照りや色の深みを加えましょう。

2



着物を塗ります。尖らせた黄色、白を使ってそれぞれの模様を塗っていきます。

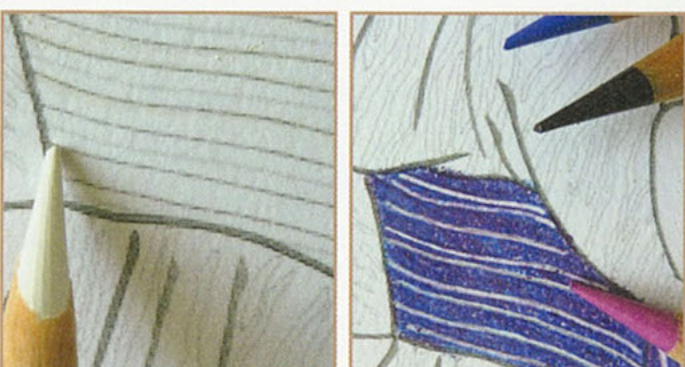


うすい灰色や、濃い灰色の色鉛筆を寝かせ軽いタッチで塗り重ねます。



着物の地は赤紫、濃い紫などを塗り重ねます。塗りムラが出ないように、丁寧に塗っていきましょう。

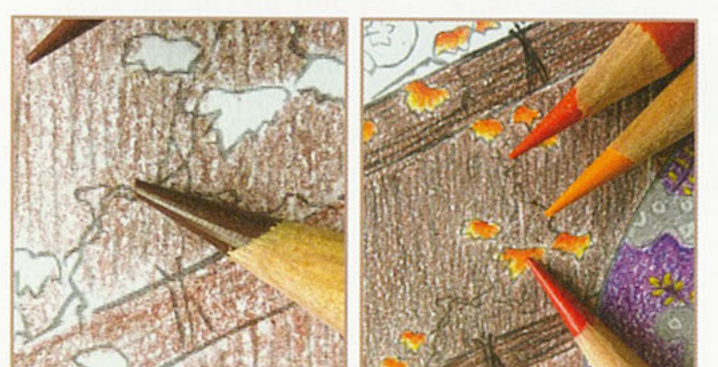
3



着物の帯は白で模様を描いた後、青、ピンク、紫を塗り重ねます。



黄、だいだいなどで柿の実を塗ります。葉は緑系で塗ります。実や葉は1つずつ色に変化をつけるとリアルな表現ができます。



垣根を茶系で塗り重ね、だいだい、赤などを使ってつたを塗ります。この時も色の違いを意識して仕上げましょう。



鈴木春信画

